



意思決定の共有

がんの診断は怖いものです。この知らせを受け、様々な感情が交錯するかもしれません。患者となり、医療用語を聞き、診療予約や治療スケジュール、副作用に生活を合わせるのは大変なことです。ある程度の方向性を示すことで、診断に伴うストレスを和らげ、意思決定に関与することにも役に立ちます。

研究によると、人々は自分自身の健康や医療に関する意思決定について、現在よりももっと関与したいと考えています。人々は、自分の治療が計画され、実行される方法をもっとコントロールしたいと望んでいます。

意思決定の共有とは何ですか？

意思決定の共有は、さまざまな選択肢がある場合に、医療従事者と患者さんの間で行われるパートナーシップのことです。

私たちはそれぞれ個性的で、すべての人に適した選択肢はありません。意思決定を共有することで、患者さんは自分のケア、治療、管理の選択肢について、自分が望むように意思決定に関与することができます。

人々は、自分にとって重要なこと、自分の状況に適していること、個人的な好みや健康上の目標を知っています。

医療従事者は、信頼性と質の高い情報にアクセスでき、意思決定の共有のプロセスの一環として、病気に関する管理選択肢の利点、欠点、結果について助言します。

医療専門家と率直に話し合うことで、患者さんは自分に適した治療や管理、サポートについて最善の決定を下すことができます。

これには、現在の治療を続けるか、新しい治療を試すか、あるいはまったく治療を行わないという決断も含まれます。

意思決定の共有にはどのようなメリットがありますか？

研究によると、意思決定の共有に積極的に関わっている患者さんは、自身の病気や治療の選択肢をよりよく理解していることが示されています。彼らは情報を得られていると感じ、声を上げ、聞かれていると感じ、よりコントロールできています。

また、治療プランに意見を述べる患者さんは、自分にとって重要なことに基づいているため、合意した治療を継続する可能性も高くなります。

意思決定の共有で考慮すべきこと。診察を受ける前に、患者さんは自分にとって何が重要かを考え、ケアと治療について有意義な会話ができるようにする必要があります。

予約の際に簡単なメモを書き、具体的にどのような質問に答えて欲しいかを書いておくとういでしょう。

出発点として、次の3つの質問が医療従事者と会話をする際に役立ちます。

- 私の選択肢は何ですか？
- 各選択肢の良い点と悪い点は何ですか？
- 意思決定のためにどのような支援が必要ですか？

決定を下す前に考慮すべきことがたくさんあるでしょうから、これらを書き留めておくとういでしょう。例：

- 私のケアと治療の目的は..
- 私が避けたい副作用は..
- 投薬についての私の気持ちは..
- 私が処方された薬を服用する可能性があるか/ないか。

- 詳細な書面による情報を希望します。
- 口頭で情報を説明してもらいたい。
- 私の治療に関わってほしい人は誰か。
- 彼らに、このように関わってほしい。

患者さんの家族や友人、介護者は、決定を下すために追加のサポートが必要だと思われる場合、話し合いに参加することができます。

予約を終了する前に

意思決定の共有は、単に患者さんを参加させるだけでなく、到達した決定が良いものであり、患者さんにとって正しいものであることを確認することです。終了前に：

- 質問が解決され、必要なことが書き留められているかを確認してください。
- 次に何が起こるかを確認してください。
- 他に質問がある場合は、連絡できる人の名前と電話番号を尋ねてください。
- 経過観察の予約を確実にお取りください。



GLOBAL LUNG CANCER
COALITION

意思決定の共有
© Global Lung Cancer Coalition
www.lungcancercoalition.org

この情報リーフレットは、世界肺癌連合（Global Lung Cancer Coalition: GLCC）事務局により作成され、肺がんの専門家によって検証されています。お住まいの国で利用できるサポートや情報サービスの詳細については、www.lungcancercoalition.org バージョン1 – 2024年6月をご覧ください。